

- 1 期 間 令和2年〇月〇日 ～ 〇月〇日  
2 学年・組 第2学年〇組  
3 プログラム名 「道徳的諸価値についての理解を深める」

4 プログラムのねらい

ふだんの生活で捉えていた道徳的価値の意味を、更に明確にしていくこと。

5 プログラム設定の理由

(1) プログラムについて

思春期にかかる中学生の発達段階においては、ふだんの生活においては分かっていると信じて疑わない様々な道徳的価値について、道徳科における教材との出会いやそれに基づく他者との対話などを手掛かりとして自分との関わりを問い直すことによって、そこから本当の理解が始まるため、道徳的価値の意味を更に明確にすることが求められる。「自分との関わり」とは、自分の経験や、そのときの感じ方考え方と照らし合わせることである。そして、「更に明確にする」とは、生徒が、ふだんの生活で捉えていた道徳的価値の意味から、価値理解、人間理解、他者理解、自己理解の視点で考えが変容していくことだと考える。

また、道徳科の授業においては、生徒一人一人がしっかりと課題に向き合い、教師や他の生徒との対話や討論なども行いつつ、内省し、熟慮し、自らの考えを深めていくプロセスが極めて重要である。このことから、道徳科の授業において、生徒が自らの考えを深めていくためには、経験を踏まえて、深く自己をかえりみる過程が重要だと言える。

そこで、ふだんの生活で捉えていた道徳的価値の意味を、更に明確にしていく生徒の姿を目指すための手立てとして、リフレクションの方法である「8つの問い」を援用し、読み物教材の登場人物を介して、生徒自身の経験を振り返る指導方法の工夫を試みた。

本プログラムでは、このことについて生徒が考えやすいよう、2人以上の登場人物の間に道徳的諸価値に根差した問題が生じる読み物教材を選択した。また、生徒が段階的に視点を広げることができるよう、内容項目をA, B, C, Dの順に配列した。

(2) 生徒の実態

(略)

(3) 指導にあたって

道徳科の授業の中で、読み物教材を活用し、登場人物の判断や心情について掘り下げることが、ふだんの生活で捉えていた道徳的諸価値の意味を更に明確にすることにつながる。

登場人物の判断や心情について掘り下げるとは、この問題場面に関わる、主人公の「行動」「考え」「感情」の奥底にある「思い」まで掘り下げることだと考える。主人公のみならず、主人公に影響を与えた他の登場人物の「行動」「考え」「感情」「思い」についても併せて振り返りを行うことで、主人公の「行動」「考え」「感情」の奥底にある「思い」まで掘り下げて考えられるようにする。

その際、生徒自身の似たような経験と、そのとき感じたことや考えたことと照らし合わせながら類推することで、道徳教材を自分のこととして捉えて考えを深めていくことができると考える。

導入では、教材に興味や関心を持たせ、教材の背景や状況が理解しやすくなるように、教材に出てくる印象的な場面をイラストや写真で紹介したりする工夫を取り入れたい。

展開では、主人公の「行動」「考え」「感情」の奥底にある「思い」まで掘り下げられるよう、「8つの問い」を取り入れたワークシートを活用し、主人公のみならず、主人公に影響を与えた他の登場人物の「行動」「考え」「感情」「思い」について、自分の経験と照らし合わせながら、振り返りを行う。中心発問において、ワークシートで整理した内容を基に他者と議論することで、他者の考えも手掛かりにし、多面的・多角的に考えを深められるようにする。「8つの問い」のワークシートの活用の具体は以下の通りである。

- ① 本時の内容項目に関わることについて考えたことを書かせる。これによって、生徒がふだんの生活で捉えている道徳的価値についての意味を確認できるようにする。
- ② 教材を読み、自分自身の生活の中にある教材と似たような経験を書かせる。これによって、自分との関わりで考えられるようにする。
- ③ 「8つの問い」を用いて、主人公と他の登場人物の行動と心情について、表に整理させる。まず、生徒が考える内容を絞るために、登場人物の「行動」について焦点化する。その後、それぞれの「行動」に対する「考え」や「感情」「思い」について類推させる。これによって、登場人物の行動の背景にある心情について、深く考えられるようにする。

- ④ 中心発問によって、登場人物の心情について、再度、深く考えられるようにする。あわせて、生徒が登場人物を介して、道徳的価値について考えられるようにする。
- ⑤ 本時の内容項目について、本時の学習を振り返りながら、改めて考えたことをまとめ、①と⑤を比較する。これによって、ふだんの生活において捉えている道徳的価値の意味を更に明確にして捉える。毎時間、書いたものを蓄積していく。

終末の⑤を書く段階では、この時間を通して感じたことや考えたことを整理しながら、自分の考えを深める。生徒が教材で明らかにした主人公の道徳的価値についての見方、感じ方、考え方について、自分との関わりを問い直すことを通して、ふだんの生活で捉えていた道徳的価値の意味を、さらに明確にしていけるようにしたい。

## 6 評価の視点

|  |   |
|--|---|
| ○ 道徳的諸価値についての理解を深めているか。  |   |
| (1) 主人公と主人公に影響を与えた他の登場人物について、自分との関わりで振り返りを行うことで、主人公の【行動】【考え】【感情】の奥底にある【思い】まで掘り下げられている。   | (2) ふだんの生活において捉えている道徳的価値の意味を更に明確にしようとしている。  |
| 【行動】<br>教材に書かれている部分。<br>【考え】【感情】<br>登場人物は、どのようなことを考えたのか、あるいはどのような気持ちだったのかを考える。<br>【思い】<br>登場人物の感じたことや考えたことの中に道徳的価値についての見方、感じ方、考え方が隠れており、それを明らかにする。 | 【価値理解】 自分にとってこんな意味がある。<br>【他者理解】 自分にはない、こんな考え方があるのか。<br>【人間理解】 大切だと分かっているけど、必ず実現できるわけではない弱さも自分にある。<br>【自己理解】 自分にはこんなよいところがある。自分はこんな生き方をしたい。 |

## 7 プログラム計画 (教材の出典「日本文教出版」)

| 時 | 主題名<br>教材名<br>内容項目                      | ねらい   | 評価の視点   | 評価方法           |
|---|---|---|---|----------------|
| 1 | 責任ある言動<br>「ネット将棋」<br>A 自主, 自律,<br>自由と責任 | 「敏和」の言葉を聞いて笑えなかった主人公「僕」の思いを考えることを通して、誠実に行動することの大切さを理解し、自主的に行動しその結果に責任をもとうとする態度を育てる。 | (1) 主人公の【行動】【考え】【感情】の奥底にある【思い】まで掘り下げられている。<br>【行動】<br>・途中でログアウトするのはよくなかった。<br>【考え】【感情】<br>・どうせ分からないだろうと思っていた。<br>・負けを認められなかった。情けない。<br>【思い】<br>・将棋や相手に誠実に向き合うことができていなかった。自分の言動に責任をもつことができていなかった。<br>(2) ふだんの生活において捉えている道徳的価値の意味を更に明確にしようとしている。<br>【価値理解】<br>・自分にとってこんな意味がある。<br>【他者理解】<br>・自分にはない、こんな考え方があるのか。<br>【人間理解】<br>・大切だと分かっているけど、必ず実現できるわけではない弱さも自分にある。<br>【自己理解】<br>・自分はこんな生き方をしたい。 | ・発言<br>・ワークシート |
| 2 | わかり合うこと<br>「コトコの涙」<br>B 相互理解,<br>寛容     | コトコの涙の理由を考えることを通して、互いの個性や立場を尊重し、広い視野に立ってさまざまなものの見方や考え方があることを理解しようとする態度を育てる。         | (1) 主人公の【行動】【考え】【感情】の奥底にある【思い】まで掘り下げられている。<br>【行動】<br>・そっとしておくことも必要だった。<br>【考え】【感情】<br>・笹岡さんのプライドを大切にすることが大事だと分かった。<br>・笹岡さんが本当はどうしたいのかを考える。<br>【思い】<br>・自分はよいことをしたつもりだったが、笹岡さんを尊重できていなかった間違いに気付いたから。<br>(2) ふだんの生活において捉えている道徳的価値の意味  | ・発言<br>・ワークシート |

|   |   |   |  |  |
|---|---|---|--|--|
|   |   |   | <p>を更に明確にしようとしている。</p> <p>【価値理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分にとってこんな意味がある。</li> </ul> <p>【他者理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分にはない、こんな考え方があるのか。</li> </ul> <p>【人間理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大切だと分かっているけど、必ず実現できるわけではない弱さも自分にある。</li> </ul> <p>【自己理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分はこんな生き方をしたい。</li> </ul>  |  |
| 3 | <p>家族のきずな<br/>「きいちゃん」<br/>C 家族愛,<br/>家庭生活の<br/>充実</p> | <p>きいちゃんと、母と姉の思い合う気持ちを考えることを通して、生徒が自分も家族にとってかけがえのない存在であることに気づき、家族を敬愛する心情を育てる。</p>   | <p>(1) 主人公の【行動】【考え】【感情】の奥底にある【思い】まで掘り下げられている。</p> <p>【行動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・姉の言葉がうれしかったから。</li> </ul> <p>【考え】【感情】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・姉や母のきいちゃんを思う気持ちが伝わったから。</li> <li>・自分のこれからの生き方についてやりたいことが見つけられうれしかったから。</li> </ul> <p>【思い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことを思ってくれる家族の愛情を感じ、家族の一員である幸せを実感することができたから。</li> </ul> <p>(2) ふだんの生活において捉えている道徳的価値の意味を更に明確にしようとしている。</p> <p>【価値理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分にとってこんな意味がある。</li> </ul> <p>【他者理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分にはない、こんな考え方があるのか。</li> </ul> <p>【人間理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大切だと分かっているけど、必ず実現できるわけではない弱さも自分にある。</li> </ul> <p>【自己理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分はこんな生き方をしたい。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・発言</li> <li>・ワークシート</li> </ul> |
| 4 | <p>強く気高く<br/>生きる<br/>「足袋の季節」<br/>D よりよく<br/>生きる喜び</p> | <p>主人公「私」の生き方と「おばあさんがくれた心」について考えることを通して、弱さと向き合い、弱い心に負けている自分を許さず、そのような自分を変えたいと自分を奮い立たせることで、目指す生き方や誇りある生き方に近付こうとする態度を深める。</p> | <p>(1) 主人公の【行動】【考え】【感情】の奥底にある【思い】まで掘り下げられている。</p> <p>【行動】</p> <p>[弱さ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おばあさんを騙してしまった。</li> </ul> <p>[弱さを乗り越える]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな事情でも、嘘をついてはいけな</li> </ul> <p>【考え】【感情】</p> <p>[弱さ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おばあさんはきっと自分を励まそうとしてくれたと思ひ込もうとした。</li> </ul> <p>[弱さを乗り越える]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もう後悔しないよう、何事も前向きに生きなければ。</li> </ul> <p>【思い】</p> <p>[弱さ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の苦しきからお釣りをごまかして受け取れば足袋を買えるという思いをする弱い自分に負けたこと。</li> </ul> <p>[弱さを乗り越える]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大人になっても心の中に弱い自分というものは相変わらずいるが、このような弱さに打ち勝ってこそ自分に自信をもつことができるため、もうあの日のように弱い自分に負けないよう、何事も前向きに取り組むようにした。</li> </ul> <p>(2) ふだんの生活において捉えている道徳的価値の意味を更に明確にしようとしている。</p> <p>【価値理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分にとってこんな意味がある。</li> </ul> <p>【他者理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分にはない、こんな考え方があるのか。</li> </ul> <p>【人間理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大切だと分かっているけど、必ず実現できるわけではない弱さも自分にある。</li> </ul> <p>【自己理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分はこんな生き方をしたい。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・発言</li> <li>・ワークシート</li> </ul> |

## 「8つの問い」を取り入れたワークシートを活用する際の指導上の留意点

### I 不一致に着目させる

主人公自身、または主人公と他の登場人物の行動と内面の間には不一致がある点については、ペアで意見交換したり、全体で交流したりして共有する。

### II 経験を想起させる

教材の中の、道徳的価値に根差した問題が生じる場面について考える際は、生徒自身が似たような経験をした状況を想起させた上でメモを取らせ、リフレクションをしやすいとする。

### III 共感、納得を明らかにさせる

登場人物について生徒が共感できる点については線を引かせる。また、自分の意見は鉛筆、他の生徒の納得した意見は赤ペンで書かせる。

### IV 人物同士の関係性を捉えさせる

主人公と併せて振り返りを行う登場人物以外の登場人物についても、人物同士の関係や関わりが分かるように、補助発問を行う。

### V 他の登場人物の思いを手掛かりにさせる

主人公に大きな関わりのある登場人物の本当の思いを手掛かりにして、主人公の本当の思い(道徳的価値)に迫る中心発問について考えたり、議論したりする。

「特別の教科 道徳」学習指導案（第1時）

1 主題名 責任ある言動 (A-1 自主, 自律, 自由と責任)

2 教材名 「ネット将棋」 (日本文教出版)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値

日常のどのような小さな行為においても、自ら考え、判断し、誠実に実行し、自己の行為の結果に責任をもつことが道徳の基本であり、そうした経験を通じて、失敗も含めて自己の責任において結果を受け止めることができるようになる。また、自らの言動に責任をもとうとすることで、さすがしい、明るいう心で私利私欲を交えずに真心を込めて行動することができ、延いては、自らの責任によって生きる自信が育ち、一個の人間としての誇りがもてるようになる。中学生の時期は、自主的に考え、行動することができるようになるが、一方で、自分自身の行為が自分や他者にどのような結果をもたらすかということ深く考えないまま、無責任な行動をとったりすることもある。相手の素性や表情が分からないインターネット上においても、その責任は変わらない。被害者はもちろん加害者になることがないよう、誠実に行動し自らの言動に責任をもつ態度を育みたい。

(2) 具体的な姿

(略)

(3) 教材の活用

将棋や囲碁は、対局者の一方が自分の負けを宣言することで終局となり、対局者双方の自主性・自律性が不可欠なゲームである。この教材は、ネット将棋で負けを認められず、不誠実な行動をしてしまう主人公「僕」が、友人の言葉を聞いて、誠実に自らの行動に責任をもって行動するとはどういうことかを考え始めるという教材である。指導に当たっては、「僕」と「敏和」の行動、考え、感情、思いについて振り返ることを通して、ねらいとする道徳的価値に気付かせ、自己との関わりを問い直すことによって、責任ある言動の意味を更に明確にさせたい。

4 本時のねらい

「敏和」の言葉を聞いて笑えなかった主人公「僕」の思いを、自分との関わりで考えることを通して誠実に行動することの大切さを理解し、自主的に行動しその結果に責任をもとうとする態度を育てる。

5 個人内評価としての見取り

|   |   |
|---|---|
| ○ 道徳的諸価値の理解を深めているか。   |   |
| (1) 「僕」と敏和について、自分との関わりで振り返りを行うことで、「僕」の【行動】【考え】【感情】の奥底にある【思い】まで掘り下げられているか。<br>(ワークシート、発言)                                    | (2) ふだんの生活において捉えている道徳的価値の意味を更に明確にしようとしている。<br>(ワークシート、発言)   |
| 【行動】<br>・途中でログアウトするのはよくなかった。<br>【考え】【感情】<br>・負けを認めることができなかつた。情けない。<br>【思い】<br>・将棋や相手に真剣に向き合うことができなかつた。自分の言動に責任をもつことができなかつた。 | 【価値理解】自分にとってこんな意味がある。<br>【他者理解】自分にはない、こんな考え方があるのか。<br>【人間理解】大切だと分かっているけど、必ず実現できるわけではない弱さも自分にある。<br>【自己理解】自分にはこんなよいところがある。自分はこんな生き方をしたい。 |

6 準備物 場面絵、ワークシート、作成したスライド、テレビ、座席表

7 本時の展開

※番号Ⅰ～Ⅴは『8つの問い』を取り入れたワークシートを活用する際の指導上の留意点』に対応

|  | 主な学習活動<br>○○発問<br>・予想される生徒の反応  | 指導の工夫・評価<br>◇支援 ☆評価   |               |    |             |            |               |                |                                 |    |                             |                 |  |
|--|--|---|---------------|----|-------------|------------|---------------|----------------|---------------------------------|----|-----------------------------|-----------------|--|
| 導入   | 1 本時の内容項目について考える。<br>○ 「責任ある言動」とはどのようなことだろうか。<br>・嘘をつかない。 ・約束を守る。  | ◇ 本時の内容項目について、生徒自身の生活を振り返らせることで、自分事として捉えることができるようにする。                                 |               |    |             |            |               |                |                                 |    |                             |                 |  |
| 展開   | 2 将棋の対局の終わり方について知る。  | ◇ 将棋の投了の瞬間の写真を見せ、教材の内容に興味や関心を持たせるとともに、将棋の終局の場面では、苦しさを乗り越えて負けを認め、相手に敬意を表して礼をすることを確認する。 |               |    |             |            |               |                |                                 |    |                             |                 |  |
|  | 3 教材を読み、ネット将棋に向かう二人の思いの違いについて話し合う。<br>○ 「僕」と「敏和」が対局した場面について、僕と敏和の行動や心情は、どうだろうか。  | ◇ 教材の状況を理解しやすくするため、デジタル教科書の朗読を使用する。   |               |    |             |            |               |                |                                 |    |                             |                 |  |
|  | <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>「僕」</th> <th>敏和</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>行動</td> <td>・時間稼ぎをした</td> <td>・嫌そうな顔もせず片付けた</td> </tr> <tr> <td>考え</td> <td>・敏和はいつの間に強くなったのか<br/>・負けを認めるのは嫌だ</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td>感情</td> <td>・腹が立った</td> </tr> </tbody> </table> |   | 「僕」           | 敏和 | 行動          | ・時間稼ぎをした   | ・嫌そうな顔もせず片付けた | 考え             | ・敏和はいつの間に強くなったのか<br>・負けを認めるのは嫌だ | /  | 感情                          | ・腹が立った          | ◇ 教材の状況を理解しやすくするため、まずは前半の「僕」と敏和の【行動】について焦点化し、【考え】【感情】について整理する。   |
|  |  | 「僕」   | 敏和            |    |             |            |               |                |                                 |    |                             |                 |  |
|  | 行動   | ・時間稼ぎをした  | ・嫌そうな顔もせず片付けた |    |             |            |               |                |                                 |    |                             |                 |  |
| 考え   | ・敏和はいつの間に強くなったのか<br>・負けを認めるのは嫌だ  | /   |               |    |             |            |               |                |                                 |    |                             |                 |  |
| 感情   | ・腹が立った   |   |               |    |             |            |               |                |                                 |    |                             |                 |  |
| ○ ネット将棋をする際の、僕と敏和の行動や心情は、どうだろうか。   | ◇ 自分の意見は鉛筆、他の生徒の納得できる意見は赤ペンで書かせて、生徒が自分の意見の変容を見取れるようにする。また、登場人物について生徒が共感できる点については線を引かせる(※Ⅲ)。  |   |               |    |             |            |               |                |                                 |    |                             |                 |  |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>「僕」</th> <th>敏和</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>行動</td> <td>・途中でログアウトした</td> <td>・負けましたと言える</td> </tr> <tr> <td>考え</td> <td>・どうせ誰だか分からないから</td> <td>・目に見えない相手とどう向き合うかで、自分が試される気がする</td> </tr> <tr> <td>感情</td> <td>・おもしろくない<br/>・イライラする<br/>・悔しい</td> <td>・将棋を楽しむ<br/>・向上心</td> </tr> </tbody> </table> |  | 「僕」   | 敏和            | 行動 | ・途中でログアウトした | ・負けましたと言える | 考え            | ・どうせ誰だか分からないから | ・目に見えない相手とどう向き合うかで、自分が試される気がする  | 感情 | ・おもしろくない<br>・イライラする<br>・悔しい | ・将棋を楽しむ<br>・向上心 | ◇ 「僕」と敏和の以下の【行動】について焦点化し、その行動の背景にある【考え】【感情】【思い】について深く考えられるようにする。<br>・ 「僕」が途中でログアウトした。<br>・ 敏和は「負けました」と言える。 |
|  | 「僕」  | 敏和  |               |    |             |            |               |                |                                 |    |                             |                 |  |
| 行動   | ・途中でログアウトした  | ・負けましたと言える  |               |    |             |            |               |                |                                 |    |                             |                 |  |
| 考え   | ・どうせ誰だか分からないから   | ・目に見えない相手とどう向き合うかで、自分が試される気がする  |               |    |             |            |               |                |                                 |    |                             |                 |  |
| 感情   | ・おもしろくない<br>・イライラする<br>・悔しい  | ・将棋を楽しむ<br>・向上心   |               |    |             |            |               |                |                                 |    |                             |                 |  |
| ◎ なぜ「僕」は敏和のツッコミに笑えなかったのだろう。<br><b>敏和の思い</b><br>・ 自分のやろうと決めたことなのだから、上手くいかなくても負けを認めることが、自分の成長につながる。<br><b>僕の思い</b><br>・ 上手になりたいと思って始めたことに対し、中途半端な気持ちだったことに気づき、はずかしくなった。  | ◇ 自我関与を促すため、「似たような経験があるか」という補助発問をして、生徒自身の生活を振り返らせるとともに、このような経験と、そのときに感じたこと、考えたことについて、ワークシートに記入させる。<br>○ 責任を感じた経験、無責任だったと振り返るような経験はあるか(※Ⅱ)。<br>◇ 「僕」と敏和のそれぞれの【行動】に対する【考え】や【感情】で、考えることが難しかった項目は、自分の経験と、そのときの感じ方、考え方と照らし合わせて、類推することを促す。また、その項目を中心に、個人で考えることが難しい場合は、ペアで議論させる。  |   |               |    |             |            |               |                |                                 |    |                             |                 |  |
|  | ◇ 「僕」の【行動】【考え】【感情】の奥底にある【思い】まで掘り下げるため、二人の【思い】の違いについて考えさせる。<br>◇ 「僕」が笑えなかった【思い】を考えやすくするため、「敏和」の【思い】について補助発問をする。<br>○ 敏和にはあって、「僕」に足りなかったものは何だろう(※Ⅴ)。<br>☆ 「僕」と敏和の【行動】【考え】【感情】【思い】について、自分との関わりで振り返りを行うことで、「僕」の【行動】【考え】【感情】の奥底にある【思い】まで掘り下げられている。<br>(ワークシート、発言)   |   |               |    |             |            |               |                |                                 |    |                             |                 |  |

|    |  |   |
|----|--|---|
| 終末 | <p>4 本時の学習について、自分の考えをまとめる。</p> <p>○ 「責任ある言動」とはどのようなことだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分で決めたことは最後までやり切ること。</li> <li>・ どのような相手, どのような結果に対しても, 誠実に行動すること。</li> <li>・ 一つ一つの言動に責任をもつことで, 自分の成長につながり, 自信をもつことができること。</li> <li>・ 自分で責任がもてるか, よく考えること。</li> </ul> | <p>◇ 本時の学習テーマを振り返り, 道徳的価値に対する自分の考えをまとめるため, ワークシートに記入させる。</p> <p>☆ ふだんの生活において捉えている道徳的価値の意味を更に明確にしようとしている。<br/>〈ワークシート, 発言〉</p> |
|----|--|---|

責任ある言動  
「ネット将棋」

責任ある言動とは何だろう。

- ・嘘をつかないこと
- ・約束を守ること

| 敏和           |   |
|--------------|---|
| <b>行動・行い</b> | <ul style="list-style-type: none"><li>・いやそうな顔をせず、手早く駒を片付けた。</li><li>・見えない相手にもきちんと挨拶できるようになった。</li><li>・初めての人とも仲良くなれる。</li></ul> |
| <b>理由・考え</b> | <ul style="list-style-type: none"><li>・見えない相手にどう向き合うかで自分が試されてると思った。</li></ul>   |

・楽しい  
・向上心

負けを認める心・誠実さ

| 「僕」          |  |
|--------------|--|
| <b>行動・行い</b> | <ul style="list-style-type: none"><li>・時間稼ぎをした。</li><li>・途中でログアウトした。</li></ul>                                 |
| <b>理由・考え</b> | <ul style="list-style-type: none"><li>・このまま続けたら負けると思った。</li><li>・負けたら悔しいから認めたくない。</li><li>・どうせ分からない。</li></ul> |

・イライラ  
・悔しい

◎笑えなかった理由

場面絵  
(教科書 p.69)

|         |         |         |
|---------|---------|---------|
| ホワイトボード | ホワイトボード | ホワイトボード |
| ホワイトボード | ホワイトボード | ホワイトボード |
| ホワイトボード | ホワイトボード | ホワイトボード |

責任ある言動とは何だろう。

- ・自分で決めたことは最後までやり切ること。
- ・どのような結果に対しても、誠実に行動すること。



道徳科学習指導案(第2時)

1 主題名 わかり合うこと (B-9 相互理解, 寛容)

2 教材名 「コトコの涙」 (日本文教出版)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値

人間は、大抵の物事についてその全体を知り尽くすことは難しく、自分なりの角度や視点から物事を見ることが多い。人には、それぞれ自分のものの見方や考え方があり、個性がある。そこで大切なことは、お互いの個性を認め、相手の考えや立場を尊重することである。他者と全く同じことはないものであり、他者との関わりの中で具体的な物事について話し合ってみないと、自分の狭さに気付くことができない。中学生段階になると生徒は、ものの見方や考え方が確立するとともに、それに固執する傾向も見えてくる。自分自身も他者も、それぞれのものの見方にとらわれ、過ちを犯しやすい人間であると深く理解した上で、互いの個性や立場を尊重し、広い視野に立ってさまざまなものの見方や考え方があることを理解する大切さを実感させたい。

(2) 具体的な姿  
(略)

(3) 教材の活用

主人公コトコはボランティア活動中、老人ホーム利用者の笹岡さんによかれと思って声をかけたことを友人であるマサシに批判され、その真意が理解できずに悩む。園長の田島さんから、優しく接することは間違いではないと慰められるが、ボランティアは「よいことをしていると思ったらダメ」と自分の価値観を押し付けてはいけないことを諭され、コトコは涙を流す。コトコの心が変容する様子が「涙」で表現されている。コトコと、笹岡さんやマサシの真意を謙虚に受け止めようとする田島さんの行動、考え、感情、思いについて振り返ることを通して、相手を理解することで、自分の考えの間違いや狭さに気付くことができることについて考えさせたい。

4 本時のねらい

コトコの涙の理由を、自分との関わりで考えることを通して、互いの個性や立場を尊重し、広い視野に立ってさまざまなものの見方や考え方があることを理解しようとする態度を育てる。

5 個人内評価としての見取り

|   |   |
|---|---|
| ○ 道徳的諸価値の理解を深めているか。   |   |
| (1) コトコと田島さんについて、自分との関わりで振り返りを行うことで、コトコの【行動】【考え】【感情】の奥底にある【思い】まで掘り下げられている。<br><br>〈ワークシート、発言〉   | (2) ふだんの生活において捉えている道徳的価値の意味を更に明確にしようとしている。<br><br>〈ワークシート、発言〉   |
| 【行動】<br>・ そっとしておくことも必要だった。<br>【考え】【感情】<br>・ 笹岡さんのプライドを大切にすることが大事。<br>・ 笹岡さんが本当はどうしたいのかを考える。<br>【思い】<br>・ 自分はよいことをしたつもりだったが、笹岡さんのことを尊重することができていなかった間違いに気付いたから。 | 【価値理解】 自分にとってこんな意味がある。<br>【他者理解】 自分にはない、こんな考え方があるのか。<br>【人間理解】 大切だと分かっているけど、必ず実現できるわけではない弱さも自分にある。<br>【自己理解】 自分にはこんなよいところがある。<br>自分はこんな生き方をしたい。 |

6 準備物 場面絵, ワークシート, 作成したスライド, テレビ

7 本時の展開

※番号Ⅰ～Ⅴは『8つの問い』を取り入れたワークシートを活用する際の指導上の留意点』に対応

|  | 主な学習活動<br>◎◎発問 ・予想される生徒の反応  | 指導の工夫・評価<br>◇支援 ○補助発問 ☆評価   |                    |        |       |                            |                       |             |                                |                                       |  |                      |                    |  |                     |  |         |  |
|--|---|---|--------------------|--------|-------|----------------------------|-----------------------|-------------|--------------------------------|---------------------------------------|--|----------------------|--------------------|--|---------------------|--|---------|--|
| 導入   | 1 本時の内容項目について考える。<br>○ 相手を理解するために、大切なことは何だろう。<br>・ 思いやりの気持ち。 ・ 目を見て話を聞く。  | ◇ 本時の内容項目について、生徒自身の生活を振り返らせることで、自分事として捉えることができるようにする。   |                    |        |       |                            |                       |             |                                |                                       |  |                      |                    |  |                     |  |         |  |
| 展開   | 2 教材の冒頭部分を読み、イラストを見て自分ならどうするかを考える。<br>○ この場面で自分ならどのような行動をとるか。<br>・ 声をかける。 ・ そっとしておく。<br>・ みんなの輪に入れるようにする。   | ◇ 教材の内容の理解を助けるために、教材のイラストを取り上げて、「自分だったらどうするか」と聞く。<br>◇ 教材の状況を理解することができるよう、デジタル教科書の朗読を使用するとともに、本文に出てくる「老人ホーム」や「魚部（うおぶ）」について説明する。 |                    |        |       |                            |                       |             |                                |                                       |  |                      |                    |  |                     |  |         |  |
|  | 3 教材を読み、笹岡さん（修三じいさん）に対するコトコの行動と心情を整理し、その判断について話し合う。<br>○ コトコが笹岡さんに声をかけた場面について、コトコの行動や、心情はどうだろうか(※Ⅰ)。  | ◇ コトコの行動の背景にある【思い】まで掘り下げるため、まずは、前半の登場人物の以下の【行動】について焦点化する。<br>・ コトコが笹岡さんに声をかけ、マサシに叱られた。<br>・ 笹岡さんはピクリとも動かない。<br>・ マサシはコトコを止めた。   |                    |        |       |                            |                       |             |                                |                                       |  |                      |                    |  |                     |  |         |  |
|  | <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>コトコ</th> <th>(笹岡さん)</th> <th>(マサシ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>行動</td> <td>・ 声をかけた<br/>・ マサシに叱られた</td> <td>・ ピクリとも動かない</td> <td>・ コトコを止めた</td> </tr> <tr> <td>考え</td> <td>・ 笹岡さんにみんなと仲良くしてほしい<br/>・ 何で叱られたのかわからない</td> <td>・ 今は話したい気持ちではなかったのかも</td> <td>・ 笹岡さんを赤ん坊扱いされたくない</td> </tr> <tr> <td>感情</td> <td>・ 悔しい・悲しい<br/>・ ショック</td> <td></td> <td>・ 怒っている</td> </tr> </tbody> </table> |   | コトコ                | (笹岡さん) | (マサシ) | 行動                         | ・ 声をかけた<br>・ マサシに叱られた | ・ ピクリとも動かない | ・ コトコを止めた                      | 考え                                    | ・ 笹岡さんにみんなと仲良くしてほしい<br>・ 何で叱られたのかわからない | ・ 今は話したい気持ちではなかったのかも | ・ 笹岡さんを赤ん坊扱いされたくない | 感情   | ・ 悔しい・悲しい<br>・ ショック |  | ・ 怒っている | ◇ 自我関与を促すため、「似たような経験があるか」という補助発問をして、生徒自身の生活を振り返らせるとともに、このような経験と、そのときに感じたこと、考えたことについて、ワークシートに記入させる。<br>○ 相手のためだと考えて行ったことが、相手に理解してもらえなかった経験があるか(※Ⅱ)。 |
|  |   | コトコ   | (笹岡さん)             | (マサシ)  |       |                            |                       |             |                                |                                       |  |                      |                    |  |                     |  |         |  |
| 行動   | ・ 声をかけた<br>・ マサシに叱られた   | ・ ピクリとも動かない   | ・ コトコを止めた          |        |       |                            |                       |             |                                |                                       |  |                      |                    |  |                     |  |         |  |
| 考え   | ・ 笹岡さんにみんなと仲良くしてほしい<br>・ 何で叱られたのかわからない  | ・ 今は話したい気持ちではなかったのかも  | ・ 笹岡さんを赤ん坊扱いされたくない |        |       |                            |                       |             |                                |                                       |  |                      |                    |  |                     |  |         |  |
| 感情   | ・ 悔しい・悲しい<br>・ ショック   |   | ・ 怒っている            |        |       |                            |                       |             |                                |                                       |  |                      |                    |  |                     |  |         |  |
| 4 田島さんと話をしている際のコトコと田島さんの行動や心情について話し合う。<br>○ 田島さんから慰められ、涙をぬぐったコトコはどんな気持ちだったのだろうか(※Ⅰ)。 | <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>コトコ</th> <th>田島さん</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>行動</td> <td>・ 田島さんと話している<br/>・ 話しながら泣いた</td> <td>・ コトコと話をした</td> </tr> <tr> <td>考え</td> <td>・ 一生懸命だったのに<br/>・ 自己満足だったかもしれない</td> <td>・ マサシは笹岡さんに憧れている<br/>・ 大事なものは笹岡さんのプライド</td> </tr> <tr> <td>感情</td> <td>・ 悔しい・悲しい<br/>・ ショック</td> <td>・ コトコを慰め、励ましたい</td> </tr> </tbody> </table>  |   | コトコ                | 田島さん   | 行動    | ・ 田島さんと話している<br>・ 話しながら泣いた | ・ コトコと話をした            | 考え          | ・ 一生懸命だったのに<br>・ 自己満足だったかもしれない | ・ マサシは笹岡さんに憧れている<br>・ 大事なものは笹岡さんのプライド | 感情                                     | ・ 悔しい・悲しい<br>・ ショック  | ・ コトコを慰め、励ましたい     | ◇ 自分の意見は鉛筆、他の生徒の納得できる意見は赤ペンで書かせて、生徒が自分の意見の変容を見取れるようにする。また、登場人物について生徒が共感できる点については線を引かせる(※Ⅲ)。<br>◇ ねらいとする道徳的価値の理解へ迫るため、左表のコトコと田島さんの行動に焦点化し、笹岡さんやマサシの真意を謙虚に受け止めようとする田島さんの【考え】【感情】について考える。<br>○ 田島さんはマサシが怒った理由をどのように考えているだろう(※Ⅰ)。<br>○ 田島さんは、笹岡さんと接する上で一番大切にしたいことは何だと考えているだろうか(※Ⅰ)。<br>○ 田島さんは、なぜコトコにこのような話をしたのだろうか(※Ⅰ)。 |                     |  |         |  |
|  | コトコ   | 田島さん  |                    |        |       |                            |                       |             |                                |                                       |  |                      |                    |  |                     |  |         |  |
| 行動   | ・ 田島さんと話している<br>・ 話しながら泣いた  | ・ コトコと話をした  |                    |        |       |                            |                       |             |                                |                                       |  |                      |                    |  |                     |  |         |  |
| 考え   | ・ 一生懸命だったのに<br>・ 自己満足だったかもしれない  | ・ マサシは笹岡さんに憧れている<br>・ 大事なものは笹岡さんのプライド   |                    |        |       |                            |                       |             |                                |                                       |  |                      |                    |  |                     |  |         |  |
| 感情   | ・ 悔しい・悲しい<br>・ ショック   | ・ コトコを慰め、励ましたい  |                    |        |       |                            |                       |             |                                |                                       |  |                      |                    |  |                     |  |         |  |

|           |   |   |
|-----------|---|---|
|           | <p>◎ コトコが泣いたのは、なぜだろう。</p> <p><b>田島さんの思い</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボランティアは、相手にとって本当に必要なことか、自分がやっていると置いていないか考える必要がある。</li> <li>・ 押し付けではなく、相手を尊重することが大切。</li> <li>・ 自分も自己満足で、生意気な考えになっていないかを考えなければならない。</li> </ul> <p><b>コトコの思い</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分はよいことをしたつもりでも、笹岡さんのことを尊重することができていなかったことに気付いたから。</li> <li>・ 田島さんの話を聞いて、自分の考えが押し付けになっていて、笹岡さんの状況や、本当に望んでいることを考えていなかったことに気付いたから。</li> </ul> | <p>◇ コトコが涙した【思い】を考えやすくするため、田島さんの【思い】について補助発問をする。</p> <p>○ 「ボランティアはよいことをしていると思ったらダメ」とはどのような意味だろう(※V)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相手にとって本当に必要なことか、自分がやっていると置いていないか考える必要があること。</li> <li>・ 押し付けではなく、相手を尊重することが大切だということ。</li> </ul> <p>○ 田島さんが「わたしもドキッと」したのはなぜだろうか(※V)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分も自己満足で、生意気な考えになっていないかを考えるきっかけになったから。</li> </ul> <p>◇ コトコの【思い】について考えを深めるため、学習班でコトコの涙の理由について議論させる。またその際、学習班で出た意見を板書にまとめることで、学級全体で意見の共有を図る。</p> <p>☆ コトコと田島さんの【行動】【考え】【感情】【思い】について、自分との関わりで振り返りを行うことで、コトコの【行動】【考え】【感情】の奥底にある【思い】まで掘り下げられている。<br/>〈ワークシート、発言〉</p> |
| <p>終末</p> | <p>5 本時の学習について、自分の考えをまとめる。</p> <p>○ 相手を理解するために、大切なことは何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の思いを押し付けるのではなく、相手の状況や本当の思いなどを考えること。</li> </ul>  | <p>◇ 本時の学習テーマを振り返り、道徳的価値に対する自分の考えをまとめるため、ワークシートに記入させる。</p> <p>☆ ふだんの生活において捉えている道徳的価値の意味を更に明確にしようとしている。<br/>〈ワークシート、発言〉</p>  |

わかり合うこと

「コトコの涙」

コトコ

マサシ

菅岡修三

- この場面で自分ならどのような行動をとるか。
- ・ 声をかける。
- ・ みんなの輪に入れるようにする。

○ コトコと、他の人の立場で考えよう。

「ボランティアはよいことをしていると thoughtたらダメ」とはどのような意味だろうか。

- ・ 相手にとって本当に必要なことか、自分がやってあげていると思っていないか考える必要があること。
- ・ 押し付けではなく、相手を尊重することが大切だということ。

| コトコ   | 田島さん  |
|---|---|
| <b>行動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 笹岡さんに声をかけた。</li> <li>・ マサシに叱られた。</li> <li>・ 田島さんと話をした。</li> <li>・ 話をしながら涙が止まらなかった。</li> </ul>    | <b>行動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コトコと話をした。</li> </ul>   |
| <b>考え</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 笹岡さんにみんなと仲良くしてほしい。</li> <li>・ 一生懸命だったのに、自己満足だったのかもしれない。</li> </ul> <p>・驚き<br/>・悲しい<br/>・ショック</p> | <b>考え</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ マサシは笹岡さんに憧れている。</li> <li>・ マサシに、大事なものは笹岡さんのプライドだと気付かされた。</li> </ul> <p>・コトコを励ましたい。</p> |

◎ コトコが泣いたのはなぜだろう。

コトコが気付いたこと ↓ コトコの成長

- ・ 自分はよいことをしたつもりでも、笹岡さんのことを尊重することができていなかったことに気付いたから。
- ・ 田島さんの話を聞いて、自分の考えが押し付けで、笹岡さんの状況や本当に望んでいることを考えていなかったことに気付いたから。

○ 相手を理解するために、大切なことは何だろう。

- ・ 自分の思いを押し付けるのではなく、相手の状況や本当の思いなどを考えて理解すること。

道徳科学習指導案(第3時)

1 主題名 家族のきずな (C-14 家族愛, 家庭生活の充実)

2 教材名 「きいちゃん」 (日本文教出版)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値

家族は、その一人一人が、誰かと取り換えることができないかけがえのない価値を有する存在である。祖父母や父母が在ること、そして自分は、そのかけがえのない子供として深い愛情をもって育てられていることに気付かせることが大切である。そのことを通して、自分の成長を願い無私の愛情をもって育ててくれた父母や祖父母に対して敬愛の気持ちを深めることが必要である。中学校の段階で生徒は、次第に自我意識が強くなり、自分の判断や意志で生きていこうとする自律への意欲が高まっていく。そのため、自分を支えてくれる父母や祖父母の言動やしつけに反抗的になりがちである。ちょっとした忠告や叱責が、あたかも自分の全てを否定するかのように思えて、時として、父母の意向に反した行動や、父母の意向を無視した行動となって現れることもある。自我意識が強まりつつある中で、家族関係を子供の視点だけでなく、家族のそれぞれの視点になって考え、家族が温かい信頼関係や愛情によって深い絆で結ばれていることを自覚させ、将来、より充実した家庭生活を築く土台としたい。

(2) 具体的な姿  
(略)

(3) 教材の活用

身体に障害のある主人公・きいちゃんが、姉の結婚式で「妹はわたしの誇りです。」と紹介され、姉の気持ちを知ることで、その生き方が明るく変わり母に感謝の思いを伝えるという内容である。さまざまな家庭の事情を抱えている生徒もいることから、指導に当たっては十分に配慮する必要があるが、家族の深い愛情に支えられながら今の生活があることや、家族が相互に信頼し合い協力し合って生活していくことが、明るい今後につながっていくということについて考えさせるのに適切な教材である。

4 本時のねらい

きいちゃんと、母と姉の思い合う気持ちを、自分との関わりで考えることを通して、生徒が自分も家族にとってかけがえのない存在であることに気づき、家族を敬愛する心情を育てる。

5 評価の視点

|  |   |
|--|---|
| ○ 道徳的諸価値の理解を深めているか。  |   |
| (1) きいちゃんと、きいちゃんに影響を与える母と姉の心情について、自分との関わりで振り返りを行うことで、きいちゃんの【行動】【考え】【感情】の奥底にある【思い】まで掘り下げられている。  | (2) ふだんの生活において捉えている道徳的価値の意味を更に明確にしようとしている。  |
| <b>【行動】</b><br>・ お姉さんの言葉がうれしかったから。<br><b>【考え】【感情】</b><br>・ お姉さんやお母さんのきいちゃんを思う気持ちが伝わったから。<br>・ 自分のこれからの生き方についてやりたいことが見つかりうれしかったから。<br><b>【思い】</b><br>・ 自分のことを思ってくれている家族の愛情を感じ、家族の一員であることの幸せを実感することができたから。 | <b>【価値理解】</b> 自分にとってこんな意味がある。<br><b>【他者理解】</b> 自分にはない、こんな考え方があるのか。<br><b>【人間理解】</b> 大切だと分かっているけど、必ず実現できるわけではない弱さも自分にある。<br><b>【自己理解】</b> 自分にはこんなよいところがある。自分はこんな生き方をしたい。 |

6 準備物 デジタル教科書, ワークシート

7 本時の展開

※番号Ⅰ～Ⅴは『8つの問い』を取り入れたワークシートを活用する際の指導上の留意点』に対応

|    | 主な学習活動<br>○○発問<br>・予想される生徒の反応   | 指導の工夫・評価<br>◇支援 ☆評価   |
|----|---|---|
| 導入 | 1 本時の内容項目について考える。<br>○ 家族を大切にすることは、どういうことだろう。<br>・ 家の手伝いをすること。<br>・ 疲れているときに肩もみをしてあげること。  | ◇ 本時の内容項目について、生徒自身の生活を振り返らせることで、自分事として捉えることができるようにする。   |
| 展開 | 2 教材の、「わたし」が「きいちゃん」と結婚式に出ることを決めた場面までを読み、きいちゃんと母と姉の行動について整理する。<br>○ きいちゃん、お母さん、お姉さんはそれぞれどのような様子だったのでしょうか。<br>[きいちゃん]<br>・ 母から、姉の結婚式に出ないように言われてはげしく泣いた。<br>[お母さん]<br>・ きいちゃんに、姉の結婚式に出ないように言った。<br>[お姉さん]<br>・ きいちゃんから浴衣を受け取り、電話で「わたし」にきいちゃんと一緒に結婚式に出てくれと言った。<br><br>3 きいちゃん、母、姉それぞれの考え、感情、思いについて考える。<br>○ きいちゃんとお母さん、お姉さんのそれぞれの行動に対する考えや感情、思いについて考えてみよう。<br><br>● [記入例]参照 | ◇ 教材の状況を理解することができるよう、デジタル教科書の朗読を使用する。<br><br>◇ 発言しやすい雰囲気づくりができるよう、それぞれの登場人物の行動に対する自由な発言を認める。<br><br>◇ 生徒が考える内容を絞るために、登場人物の以下の「行動」について焦点化する。<br>① きいちゃんが「生まれてこなければよかった」とはげしく泣いた。<br>② きいちゃんが姉へのお祝いのために浴衣を一人でぬった。<br>③ 母が、きいちゃんに姉の結婚式に出ないように言った。<br><br>◇ 自我関与を促すため、「似たような経験があるか」という補助発問をして、生徒自身の生活を振り返らせるとともに、このような経験と、その時に感じたこと、考えたことについて、ワークシートに記入させる。<br>○ 家族から言われたことで、納得できなかったことはあるか(※Ⅱ)。<br>・ 花火大会に行くと言われた。<br>・ 弟や妹だけ特別扱いしている気がする。<br><br>◇ 「きいちゃん」の【行動】【考え】【感情】の奥底にある【思い】まで掘り下げるため、まずは個人で、「きいちゃん」と母、姉の【行動】と、【考え】【感情】、【思い】について対比させながら表に整理させる。<br><br>◇ 考えることが難しかった項目は、自分の経験と、そのときの感じ方、考え方と照らし合わせて、類推することを促す。また、その項目を中心に、個人で考えることが難しい場合は、ペアや学習班で議論させる。<br><br>◇ 自分の意見は鉛筆、他の生徒の納得できる意見は赤ペンで書かせて、生徒が自分の意見の変容を見取れるようにする。また、登場人物について生徒が共感できる点については線を引かせる(※Ⅲ)。<br><br>◇ 母の【思い】について考えることができるよう、補助発問をする。<br>○ お母さんは今までどのような思いで、きいちゃんを育ててきたのだろうか(※Ⅰ)。 |

|   |   |
|---|---|
| <p>4 教材を最後の場面まで読み、「きいちゃん」の「お母さん」に対する思いを考える。</p> <p>◎ きいちゃんが「生んでくれてありがとう。」とお母さんに話したのは、なぜだろう。</p> <p><b>きいちゃんの思い</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お姉さんやお母さんのきいちゃんをかけがえない家族として大切に思う気持ちが伝わったから。</li> <li>・ 自分のことを思ってくれている家族の愛情を感じ、家族の一員であることの幸せを実感することができたから。</li> <li>・ 自分に自信をもつことができ、これからの目標を見つけたから。</li> </ul> | <p>◇ 姉の【思い】について考えることができるよう、補助発問をする。</p> <p>○ きいちゃんのことを「私の誇り」だと言ったとき、お姉さんはどのような思いだったのだろうか（※IV）。</p> <p>◇ 「きいちゃん」の【思い】を考えやすくするため、母の【思い】について補助発問をする。</p> <p>○ 「きいちゃん」とお母さんは、どのような気持ちのすれ違いがあったのだろうか（※V）。</p> <p>○ 「きいちゃん」はお母さんに対して本当はどのように思っているのだろうか（※V）。</p> <p>☆ 「きいちゃん」と家族の【行動】【考え】【感情】【思い】について、自分との関わりで振り返りを行うことで、「きいちゃん」の【行動】【考え】【感情】の奥底にある【思い】まで掘り下げられている。</p> <p>（ワークシート、発言）</p> |
| <p>5 この授業で感じたこと、考えたことをまとめる。</p> <p>○ 家族を大切にすることは、どういうことだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いつも自分に対して言ってくれることや、してくれることは、本当に自分のことを大切に考えてのことだから、そのことに感謝すること。</li> </ul>  | <p>◇ 本時の学習テーマを振り返り、道徳的価値に対する自分の考えをまとめるため、ワークシートに記入させる。</p> <p>☆ ふだんの生活において捉えている道徳的価値の意味を更に明確にしようとしている。</p> <p>（ワークシート、発言）</p>   |

● [記入例]

|        | きいちゃん   |                     | お母さん                                     | お姉さん                                    |
|--------|---|---------------------|--|---|
| 行動     | ①生まれてこなければよかった。<br>①はげしく泣いた。                          | ②浴衣をひとりで縫う。         | ③結婚式に出ないでほしいといった。                        | ②浴衣が届いて「わたし」に電話をしてきいちゃんと結婚式にでてほしいと言った。  |
| 考え     | ①お母さんは私のことが恥ずかしい。私よりお姉さんのことはかり考えている。<br>①悲しい          | ②姉に喜んでほしい。<br>②一生懸命 | ③きいちゃん自身が辛い思いをすると心配。姉が肩身の狭い思いをする。<br>③心配 | ②きいちゃんが自分のために浴衣をぬってあげたことがうれしかった。<br>②幸せ |
| 思い(願望) | ①自分なんていなければいい。<br>①家族にとって自分はどうでもいいんだ。<br>①本当は結婚式に出たい。 | ②本当は姉のことも母のことも大好き。  | ③本当はきいちゃんを結婚式に出してあげたいが、嫌な思いはしてほしくない。     | ②周りの人にどう思われるかよりも、家族が大事。                 |

家族のきずな  
きいちゃん

○ 家族を大切にすることは、どういうことだろう。  
・ 家の手伝いをする。・ 肩もみをしてあげること。

- ・ 大事なきいちゃんに言われて辛い。
- ・ 自分を責める気持ち。

○ 「生まれてこなければよかったのに……。」

- ・ 恥ずかしい・引け目がある。

きいちゃん

① 生まれてこなければよかった。

② お姉さんへのお祝いに浴衣を一人でぬった。

お母さん

③ きいちゃんに結婚式に出ないでほしいと言った。

お姉さん

② 浴衣が届いて「わたし」に電話をして、きいちゃんと一緒に結婚式に出てほしいといった。

◎ 「生んでくれてありがとう。」

- ・ こちらこそありがとう。
- ・ きいちゃんらしく生きてほしい。
- ・ 家族の気持ち伝わった。
- ・ 家族の一員である幸せを実感した。

○ 家族を大切にすることとは、どういうことだろう。  
・ いつも自分に対して言ってくれることや、してくれることは、本当に自分のことを大切に考えてのことだから、そのことに感謝すること。



道徳科学習指導案(第4時)

1 主題名 強く気高く生きる (D-22 よりよく生きる喜び)

2 教材名 「足袋の季節」 (日本文教出版)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値

欠点や弱点がない人間はいない。ありのままの人間は、決して完全なものではない。誰の心の中にも弱さや醜さがある。しかしながら、同時に、人間はその弱さや醜さを克服したいと願う心をもっている。時として様々な誘惑に負け、やすきに流れることもあるが、誰もがもつ良心によって悩み、苦しみ、良心の責めと戦いながら、呵責に耐えきれない自分の存在を深く意識するようになる。こうした苦しみに打ち勝って、恥とは何か、誇りとは何かを知り、自分に誇りをもつことができたとき、人間として生きる喜びに気付くことができる。中学校の段階では、人間が内に弱さや醜さをもつと同時に、強さや気高さを併せてもつことを理解することができるようになり、学年が上がるにつれて、崇高な人生を送りたいという人間のもつ気高さを追い求める心が強くなる。決して自分だけが弱いのではないということに気付き、その弱さと向き合い、自分を奮い立たせることで目指す生き方や誇りある生き方に近付けるということに目を向けられるようにしたい。

(2) 具体的な姿  
(略)

(3) 教材の活用

貧しい老婆から釣銭をごまかし良心の呵責に悩む主人公「私」が貧困と寒さに耐えきれず、釣銭で足袋が買えると考えた罪と後悔を糧に、「おばあさんにもらった心」を人生に前向きに生かそうとしてきた姿勢に、自分の弱さと向き合おうとする生き方を学ばせたい。

4 本時のねらい

主人公「私」の生き方と「おばあさんがくれた心」について、自分との関わりで考えることを通して、弱さと向き合い、弱い心に負けている自分を許さず、そのような自分を変えたいと自分を奮い立たせることで、目指す生き方や誇りある生き方に近付こうとする態度を深める。

5 評価の視点

|   |   |
|---|---|
| ○ 道徳的諸価値の理解を深めているか。   |   |
| (1) 「私」と「私」に影響を与えた「おばあさん」について、自分との関わりで振り返りを行うことで、「私」の【行動】【考え】【感情】の奥底にある【思い】まで掘り下げられている。   | (2) ふだんの生活において捉えている道徳的価値の意味を更に明確にしようとしている。  |
| <p>【行動】</p> <p>[弱さ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>おばあさんを騙してしまった。</li> </ul> <p>[弱さを乗り越える]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どんな事情でも、嘘をついてはいけない。</li> </ul> <p>【考え】【感情】</p> <p>[弱さ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>おばあさんはきっと自分を励まそうとしてくれたと思いたい。</li> </ul> <p>[弱さを乗り越える]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>もう後悔しないよう、何事も前向きに生きなければ。</li> </ul> <p>【思い】</p> <p>[弱さ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活の苦しさからお釣りをごまかして受け取れば足袋が買えるという思いをする弱い自分に負けたこと。</li> </ul> <p>[弱さを乗り越える]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大人になっても心の中に弱い自分というものは相変わらずいるが、このような弱さに打ち勝ってこそ自分に自信をもつことができるため、もうあの日のように弱い自分に負けないよう、何事も前向きに取り組むようにした。</li> </ul> | <p>【価値理解】自分にとってこんな意味がある。</p> <p>【他者理解】自分にはない、こんな考え方があるのか。</p> <p>【人間理解】大切だと分かっているけど、必ず実現できるわけではない弱さも自分にある。</p> <p>【自己理解】自分にはこんなよいところがある。<br/>自分はこんな生き方をしたい。</p> |

6 準備物 場面絵, ワークシート

7 本時の展開

※番号Ⅰ～Ⅴは『8つの問い』を取り入れたワークシートを活用する際の指導上の留意点』に対応

|    | 主な学習活動<br>○○発問<br>・予想される生徒の反応   | 指導の工夫・評価<br>◇支援 ☆評価  |
|----|---|--|
| 導入 | <p>1 本時の内容項目に関わることについて考える。</p> <p>○ 「人間の強さ」とは、どんなことだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何事も途中でやめずに努力すること。</li> <li>・ 自分に厳しくできること。</li> <li>・ 誰に対しても優しくできること。</li> </ul>  | <p>◇ 本時の内容項目について、生徒自身の生活を振り返らせることで、自分事として捉えることができるようにする。</p>   |
| 展開 | <p>2 教材の「私」がおばあさんからお釣りを多く受け取った場面までを読み、「私」とおばあさんの行動について整理し、それぞれの行動の背景にある、考え、感情、思いについて考える。</p> <p>○ 「私」とおばあさんはそれぞれどのような様子だったでしょうか。</p> <p>[私]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お釣りが多いと分かっていながら受け取ってしまった。</li> </ul> <p>[おばあさん]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「踏ん張りなさいよ。」と言って、「私」にお釣りを多く渡した。</li> </ul> <p>○ 「私」とおばあさんのそれぞれの行動に対する考えや感情、思いについて考えてみよう。</p> <p>● [記入例] 参照</p> | <p>◇ 教材文の状況を理解することができるよう、デジタル教科書の朗読を使用する。</p> <p>◇ 教材文の状況を理解することができるよう、「足袋」や極冬の「小樽の街」の写真などを提示し、併せて当時の「足袋」やお金「銭」の価値について、生徒の身近なものに置き換えて説明する。</p> <p>◇ 発言しやすい雰囲気づくりができるよう、それぞれの登場人物の行動についての自由な発言を認める。</p> <p>◇ 登場人物の以下の【行動】について焦点化し、その行動の背景にある、【考え】【感情】【思い】について深く考えられるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「私」がおばあさんからお釣りを多く受け取った。</li> <li>・ おばあさんは「踏ん張りなさいよ」と言って、お釣りを多く渡した。</li> </ul> <p>◇ 自我関与を促すため、「似たような経験があるか」という補助発問をして、生徒自身の生活を振り返らせるとともに、このような経験と、そのときに感じたこと、考えたことについて、ワークシートに記入させる。</p> <p>○ 「自分って弱いなあ」と思うのは、どんなことだろう(※Ⅱ)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 朝寒いと起きられないこと。</li> <li>・ 自分で立てたテスト勉強計画をすぐに止めてしまうこと。</li> <li>・ 嘘をついてしまったこと。</li> </ul> <p>○ 自分が嘘をついたりごまかしたりしてしまったら、どのような思いになるか(※Ⅱ)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 罪悪感がある。</li> <li>・ その場はうまくごまかせても、後々気になって仕方がない。</li> </ul> <p>○ 「私」の行動についてどう思うか(※Ⅰ)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どんな事情があっても、嘘をついてはいけない。</li> <li>・ 貧しくて厳しい状況だから、もしかしたら自分も嘘をついてしまうかもしれない。</li> </ul> <p>◇ 生徒が自由に発言できる雰囲気をつくり、道徳的価値の理解を深めることができるよう、生徒自身の生活の振り返りについて、人の弱さから出た行動や思いの部分認め、共感する。</p> |

|  |  |
|--|--|
| <p>3 教材を最後まで読み、「私」の行動について整理し、その行動の背景にある考え、感情、思いについて考える。</p> <p>○ おばあさんが亡くなったことを知った「私」はどのような様子だったのでしょうか。</p> <p>[私]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 果物かごを川へ投げ捨て、涙が止まらなかった。</li> </ul> <p>○ 「私」の考えや感情、思いについて考えてみよう。</p> <p>● [記入例] 参照</p>   | <p>◇ おばあさんの【思い】について考えることができるよう、補助発問をする。</p> <p>○ おばあさんはお釣りの間違いに気付いていたのだろうか(※I)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「踏ん張りなさいよ」と言ったから、気付いていたと思う。</li> <li>・ 「踏ん張りなさいよ」と応援する気持ちはあったが、お釣りの間違いには気付いていなかったと思う。</li> </ul> <p>◇ 「私」とおばあさんのそれぞれの【行動】に対する【考え】や【感情】、【思い】で、考えることが難しかった項目は、自分の経験と、そのときの感じ方、考え方と照らし合わせて、類推することを促す。また、その項目を中心に、個人で考えることが難しい場合は、ペアで議論させる。</p> <p>◇ 生徒が考える内容を絞るために、登場人物の以下の【行動】について焦点化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 果物かごを川へ投げ捨てた「私」は、涙が止まらなかった。</li> </ul> <p>◇ おばあさんの行動に対する「私」の【思い】を考えやすくするため、補助発問をする。</p> <p>○ 「私」はおばあさんの思いに気付いていたのだろうか(※I)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気付いていたから、苦しんだと思う。</li> </ul> <p>○ おばあさんに謝ることができないと分かって、「私」はどのような思いになっただろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 都合のいい甘い考え方をした自分が許せない。</li> </ul> <p>◇ 自分の意見は鉛筆、他の生徒の納得できる意見は赤ペンで書かせて、生徒が自分の意見の変容を見取れるようにする。また、登場人物について生徒が共感できる点については線を引かせる(※III)。</p> <p>◇ おばあさんの【行動】に対する「私」の【思い】について考えるため、学習班で議論する。</p> |
| <p>◎ 「私の弱さ」はどこにあり、「どう乗り越えよう」としたのだろうか。</p> <p>[弱さ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活の苦しさからお釣りをごまかして受け取れば足袋を買えるという思いをする弱い自分に負けたこと。</li> </ul> <p>[弱さを乗り越える]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大人になっても心の中に弱い自分というものは相変わらずいるが、このような弱さに打ち勝ってこそ自分に自信をもつことができるため、もうあの日のように弱い自分に負けないよう、何事も前向きに取り組むようにした。</li> </ul> | <p>◇ 「私」の【思い】について考えることができるよう、補助発問をする(※V)。</p> <p>○ おつりを多く受け取ったら、足袋が買えると思うことは弱さだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 弱さは誰にでもあるので、弱い思いそのものではなく、それに負けることが弱さだと思う。</li> </ul> <p>○ この後の「私」は、どのような生き方をしたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の弱い心が出そうな時、おばあさんとの出来事を思い出し、それではだめだと自分に言い聞かせた。</li> </ul> <p>☆ 「私」とおばあさんの【行動】【考え】【感情】【思い】について、自分との関わりで振り返りを行うことで、「私」の【行動】【考え】【感情】の奥底にある【思い】まで掘り下げられている。</p> <p style="text-align: right;">〈ワークシート、発言〉</p>  |

|    |   |  |
|----|---|--|
| 終末 | <p>4 この授業で感じたこと、考えたことをまとめる。</p> <p>○ 「人間の強さ」とは、どんなことだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分にも弱さがあることを認めた上で、同時に弱さに負ける自分を許さなかったり、打ち勝とうとしたりすることで、自分の弱さを乗り越えられること。</li> </ul> | <p>◇ 本時の学習テーマを振り返り、道徳的価値に対する自分の考えをまとめるため、ワークシートに記入させる。</p> <p>☆ ふだんの生活において捉えている道徳的価値の意味を更に明確にしようとしている。<br/>(ワークシート、発言)</p> |
|----|---|--|

● [記入例]

|      | 「私」   |  | おばあさん  |
|------|---|--|--|
| 行動   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・お釣りが多いと分かっていたながら受け取ってしまった。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・果物かごを投げ捨て、涙が止まらなかった。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「踏ん張りなさいよ。」と言って、「私」にお釣りを多く渡した。</li> </ul>  |
| 考え   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・これで足袋が買える。</li> <li>・おばあさんを騙してよいのだろうか。</li> <li>・自分をはげましてくれている。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うれしい</li> <li>・苦しみ</li> </ul> </div> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・取返しのつかないことをしてしまった。</li> <li>・あの日にちゃんと謝っておけばよかった。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後悔</li> <li>・罪悪感</li> </ul> </div> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・この子は生活に苦労していそうだから少しでも助けてあげたい。</li> <li>・貧しさにながらにがんばってほしい。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・優しさ</li> </ul> </div> |
| 思い願い | <ul style="list-style-type: none"> <li>・早く謝らなければいけないと思うが、なかなかいけない。</li> <li>・自分の弱い心に負けてしまった。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・おばあさんの思いに背いた自分が情けない。</li> <li>・自分に都合のいいように考えた甘さが許せない。</li> <li>・謝れない分せめておばあさんの気持ちに背かないような生き方をしたい。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・嘘をついたことも含めて「私」を受け止め、応援したい気持ち。</li> </ul>   |

強く気高く生きる  
足袋の季節

※ ○ 当時の生活状況  
一九二〇年代、足袋は約二〇銭

|     | 「私」   |  | おばあさん  |
|-----|---|--|--|
| 行動  | ・お釣りが多いと分かっているから受け取ってしまった。  | ・果物かごを投げ捨て、涙が止まらなかった。  | ・「踏ん張りなさいよ。」と言って、「私」にお釣りを多く渡した。                              |
| 考え  | ・これで足袋が買える。<br>・おばあさんを騙してよいのだろうか。<br>・自分をはげましてくれる。<br>・うれしい<br>・苦しみ | ・取返しのつかないことをしてしまった。<br>・あの日にちゃんと謝っておけばよかった。<br>・後悔<br>・罪悪感                             | ・この子は生活に苦勞していそうだから少しでも助けてあげたい。<br>・貧しさに負けずにかんばってほしい。<br>・優しさ |
| 思い願 | ・早く謝らなければいけないと思うが、なかなかいけな<br>い。<br>・自分の弱い心に負けてしまった。                 | ・おばあさんの思いに背いた自分が情けない。<br>・自分に都合のいいように考えた甘さが許せない。<br>・謝れない分せめておばあさんの気持ちに背かないような生き方をしたい。 | ・嘘をついたことも含めて「私」を受け止め、応援したい気持ち。                               |

◎ 「私の弱さ」はどこにあり、「どう向き合おう」としたのだろうか。

【弱さ】

- ・生活の苦しきからお釣りをごまかして受け取れば足袋を買い取るという思いをする弱い自分に負けたこと。

【弱さを乗り越える】

- ・大人になっても心の中に弱い自分というものは相変わらずいるが、このような弱さに打ち勝つてこそ自分に自信をもつことができるため、もうあの日のように弱い自分に負けないよう、何事も前向きに取り組むようにした。

○ 「人間の強さ」とは、どんなことだろう。

- ・自分にも弱さがあることを認めた上で、同時に弱さに負ける自分を許さなかったり、打ち勝とうとしたりすることで、自分の弱さを乗り越えられること。